

# 企 画 書

-神奈川県ビリヤード協会- 2024.3.5

企画者氏名	石井 健一
企画タイトル	店舗間の交流イベント開催企画
目的	<p>1.1 目的</p> <p>当協会は、会員による自主的なイベントの開催を通じて、参加促進と満足度の向上を目指します。この取り組みにより、ビリヤードコミュニティの活性化を図ります。</p>
内容 (具体的に)	<p>1.2 背景</p> <p>神奈川県ビリヤード協会は、人材不足により新たなイベントの開催が難しい状況にあります。この課題を解決するために、会員の積極的な参加と協力を促す企画を立案しました。また、KBAに加盟した理由として「神奈川店舗とのネットワーク構築のため」「ビリヤード普及のため」というアンケート結果が複数店からありました。</p> <p>2. 対象者</p> <p>2.1 主な対象者</p> <p>ビリヤード店のオーナーを中心とした既存会員です。彼らの積極的な参加を促し、地域の店舗の顧客に対してイベントの企画・実行を担っていただきます。</p> <p>3. リソース配分</p> <p>3.1 予算</p> <p>年間を通じて全体で16万円の予算を設け、1イベントあたり4万円以内での運営を目標とします。</p> <p>3.2 人的リソース</p> <p>イベントの企画・実行は、ビリヤード店のオーナーや会員が中心となります。協会は支援と指導を行います。</p> <p>4. インセンティブ構造</p> <p>4.1 経費請求</p> <p>イベント運営にかかる経費は、協会への請求が可能です。これにより、オーナーの負担を軽減し、参加を促します。</p> <p>5. フィードバックと評価</p> <p>5.1 評価基準</p> <p>初回の実施では、イベント参加人数と収益を評価の基準とします。予算の使用状況も重要な指標です。</p>

	<p><b>5.2 成功指標</b> イベント参加人数が定員の 80%以上であれば、成功と見なします。参加者の満足度も重要な指標です。</p> <p><b>6. コミュニケーション戦略</b></p> <p><b>6.1 コミュニケーションチャネル</b> 協会のホームページ、Facebook、電話、Zoom 会議、メールを活用して情報共有と連絡を取ります。</p> <p><b>7. タイムラインと期待</b></p> <p><b>7.1 タイムライン</b> 具体的な期限は設けず、準備が整い次第、イベントを実施します。年間計画に基づいて適宜調整します。企画は理事会にて承認されたイベントを実行します。</p> <p><b>8. 過去の取り組みと今後の展望</b></p> <p><b>8.1 新規性</b> この企画は協会にとって初めての試みです。神奈川県内での平等なイベント実施を目指し、新たな挑戦を行います。</p> <p><b>8.2 展望</b> 協会に加入することで参加可能な特別な交流イベントの企画も視野に入れ、会員間の結束とビリヤードコミュニティの更なる発展を目指します。</p>
--	---

事務局	▶	各競技部	▶	事務局	▶	理事会
各競技部に 企画会議を要請 日程調整		企画会議にて 内容を詰める ※場所や運営人員 必要経費等 事務局へ報告		理事会の要請 日程調整		企画の承認